

## いかりはくわせぬおれのむね

15日の練習中、野本さんから「これはどういう意味ですか」の質問に、議論続出。船なんで錨に決まってる、しかし「くう」とは何ぞや、少しモヤモヤとした気分で歌った。

戻って調べてみた。

結論から言うと、大久保キャプテンの解釈「俺は船乗りだ、世界中を回るんだ、世界中に女がいる、だから(愛しいお前であつても)錨をくわせることはない、一カ所に留まることはないよ」が、大正解でした。

以降検証です。

ネット上に歌詞があった。[https://www.allthelyrics.com/lyrics/bomben\\_auf\\_monte\\_carlo/das\\_ist\\_die\\_liebe\\_der\\_matrosen-lyrics-907595.html](https://www.allthelyrics.com/lyrics/bomben_auf_monte_carlo/das_ist_die_liebe_der_matrosen-lyrics-907595.html)。「Das ist die Liebe der Matrosen、これぞマドロスの恋」の歌詞を左列に、翻訳ソフトによる訳を中列に置きます。

そして、川島さんに借りた「むかし NHK で放送した際の字幕付き映像」の字幕を右列に置きます。字幕は簡潔で、意味がよくわかる。字幕では、歌詞の3段目は、敢えて訳していない。

映画で歌っている歌詞ほぼ逐語訳映画の字幕

Die Welt ist schön und muss sich  
immer dreh'n

世界は美しく、常に回らなければなら  
ない

地球はいつも回ってる

da woll'n wir 'mal ein Ding dreh'n!  
Jawohl Herr Kapitän! Jawohl Herr  
Kapitän!

私たちも何かしたい！  
はい、キャプテン！はい、キャプテン！

おれたちも何かを回したい

Was nützt uns sonst die Kraft?  
Blut ist kein Himbeersaft!  
Die Sache wird schon schief geh'n!  
Jawohl Herr Kapitän! Jawohl Herr  
Kapitän!

そうでなければ、私たちにとって権力は  
何の役に立つのだろうか？  
血はラズベリージュースではない！  
物事はうまくいかないだろう！  
はい、キャプテン！はい、キャプテン！

恋人がいるなら手紙を書け

愛する人よ、さようなら

Und hast du eine Fee  
dann schreib ihr: "Schatz ade!  
Ich muss 'mal eben 'rüber zum  
Titicaca-See!"

そして、あなたに妖精がいるなら、彼女に  
手紙を書こう：  
「さようなら、ダーリン！ チチカカ湖に  
行かなければならない！」

ボクは地球をぐるりと回り

チチカカ湖まで行かねばならぬ

Das ist die Liebe der Matrosen!  
**Auf die Dauer lieber Schatz ist  
mein Herz kein Ankerplatz.**  
Es blüh'n an allen Küsten Rosen  
und für jede gibt es 1000fach Ersatz!

これが船乗りの愛だ！  
長い目で見れば、親愛なる愛しい人、私の  
心は停泊所ではないよ。  
あらゆる海岸にバラが咲き誇り、それぞ  
れのバラが 1000 本も交換可能。

これが船乗りの恋

わが恋人は停泊地に  
あらゆる港にバラは咲く

Man kann so süß im Hafen schlafen

港ではとても優しく眠ることができる

つかの間の甘き眠り

doch heisst es bald auf Wiedersehen!  
Das ist die Liebe der Matrosen von  
dem kleinsten und gemeinsten Mann  
bis rauf zum Kapitän.

でももうすぐお別れの時が来る！  
これが、最も小さくて卑劣な男から船長  
に至るまで、すべての船乗りの愛だ。

別れはすぐに訪れる  
これが船乗りの恋  
船員も船長も皆同じ

映画では何度もこの歌が出てきますが、歌詞は少しずつ変えています。最終場面では、次のように歌っています。

世界は美しくつねに回る 俺たちは回りたい、艦長殿！ 女がいるなら手紙を書け 海を越えてチチカカまでも…  
船乗りの恋はこんなもの 私の心は錨とともにある 浜辺には見渡すかぎりバラが満開  
港の眠りは甘い すぐにサヨナラがやってくる それが船乗りの恋つもの 船員も船長もみな同じ

出典：[https://www.youtube.com/watch?v=RhO\\_APfxct0](https://www.youtube.com/watch?v=RhO_APfxct0)

### 発行後、近森さんの気付き

船を停めるテイハクには、「停泊＝岸壁に停泊」と「碇泊（錨泊）＝錨を打って停泊」がある。

翻訳にあたって、後者の「碇泊」と訳したところ、それを「ていはく」ではなく「いかりはく」と読んだのではないか。つまり「いかりは、くわせぬ」ではなく「いかりはくは、せぬ」ではないか。 →右下の画像を参照してください。

### 日本語の歌詞「これぞマドロスの恋」

#### ① われわれの歌詞

これぞマドロスの恋、錨はくわせぬ俺の胸 巡る港々に花は咲くバラが咲く  
甘い夢の一夜、あしたは aufwiedersehen これぞマドロスの恋、涯しなく広がる男の夢  
世界中を船で回る、それが船乗り俺の仕事 元気澆刺たぎる血潮、海にいのちを俺の仕事  
恋人にも暫し別れ、波を枕に子守歌に これぞマドロスの恋、燃える思いを止められはしない海に咲くバラの花、港々で招くよ

#### ② 葉巻逸雄による歌詞(1934年) 奥田良三が歌ってます。

1行目はわれわれの歌詞とほぼ同じ、2行目はちょっと気取った言い方をしている。

これぞマドロスの恋 錨はくはせぬ俺の胸 めぐる港々に 花は咲く薔薇は咲く  
甘い夢の一夜 明けりや『おさらば』よ これぞマドロスの恋 俺の誠は流れる風と波

歌詞は続きます。

オレはマドロサホーイ お宿は涯しない波の上 今日 椰子の島影 あさオーロラ燃ゆる下  
海は世界を巡る 世界は空めぐ オレはマドロサホーイ オレの恋は遙かな空と水

出典：[https://kikitakunattaanokyoku.blogspot.com/2018/02/blog-post\\_8.html](https://kikitakunattaanokyoku.blogspot.com/2018/02/blog-post_8.html)

奥田良三の歌は、次のサイトで聴けます。

<https://www.youtube.com/watch?v=VUPRxD4uwKg>

<https://www.youtube.com/watch?v=cdy9NwRWM3Y>

奥田の発音は、いかりは、くわせぬ、に聞こえます。

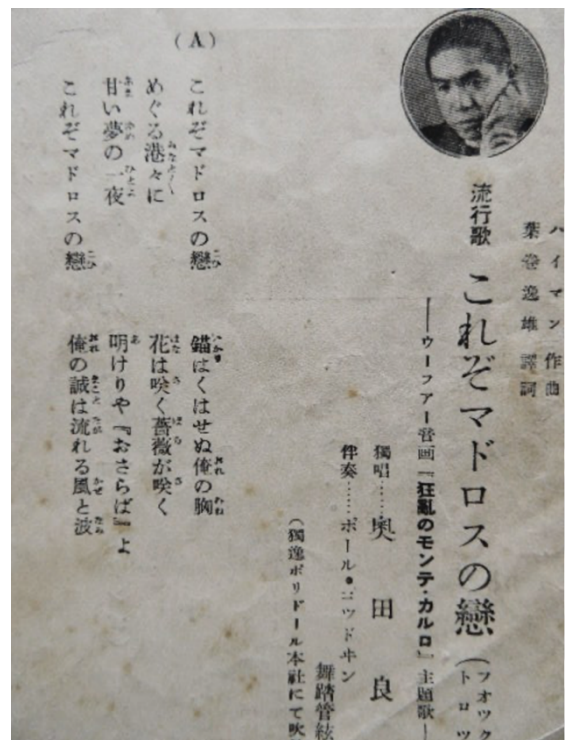
### 映画を見たい方

ユーチューブにフルヴァージョンもあります。

<https://www.youtube.com/watch?v=sO9obWJHsMo>

字幕はないですが、全編見ることができます。

先に書いた川島さん作成のBDは団内巡回中です。字幕ありです。



ストーリーはハチャメチャです。面白いです。

船艦上の描写はよくできてます。モナコ公国モンテカルロの町並みは美しく、ダンスホール・カジノも出てきます。

女王さまから船員の未払いの給料と船を動かす石炭代 10万フランを貰いました。日本の物価指数は映画制作当時の1200倍です。フランスも同じとすると、1億2000万円。船長はこれをカジノで摩っちまいりました。

下書き段階で、野本さん・鶴野さんにご助言をいただきました、ありがとうございます。

2024/10/16 B2 山路永司。

一度ホームページにアップしたあと、近森さんからご助言をいただきました。ありがとうございます。10/20改訂。